

1. 単元名 「調べたことを報告しよう レポートにまとめる」

2. 指導の立場

(1) 単元について

本単元の学習目標は、次の通りである。

- ・課題に合わせて、集めた材料を整理する。【書（1）ア・イ】
- ・調べた内容がわかりやすく伝わるように、構成に沿って文章にまとめる。【書（1）エ】

前単元の「シカの落ち穂拾い」で学習した、事実と考えの関係性や、筆者の述べ方の工夫、図表の役割を踏まえ、「自分で設定したテーマについてレポート形式でまとめる」というのが本単元を中心となる学習内容である。

1年6組の生徒は、生活面でも学習面でも、自分に与えられた役割や課題に対して誠実に取り組むことができる。しかし、自分の考えを話したり書いたりすることに弱さがある。このような生徒が、将来他者とコミュニケーションをとって、共に活動していくためには、自己を表現する力が必要不可欠である。そこで、本単元で中心となる領域「書くこと」に加え、レポート形式でまとめた内容を他者に伝えるという「話すこと」領域の学習を組み込み（相手にわかりやすく伝わるように、声の大きさや間の取り方などを意識して話す。【話（1）ウ】）、国語の授業・マンツーマン指導の中で、人と関わっていくための力・表現する力を育んでいきたい。

(2) 生徒の実態 （1年生 K男）

<1学期の取り組み>

- ・6月に「好きなものを紹介しよう」という単元で、スピーチの学習をした。（1分目安）
- ・7月に学年集会で、1学期の学級の財産を1年生全員の前で話す経験をした。（原稿用紙1枚半程度）
- ・毎日の帰りの会で、生活記録に記入した1日の振り返りを話している。（1～2分程度）
- ・学級活動の時間に、1回は発言することを目標にしている。

<成果と課題>

話すこと・聞くこと

○話しかけられたときの受け答えはできるようになってきた。

○人の方を見て話を聞くことができるようになってきた。

△話し始めの言葉がなかなか出てこず、すらすらと話すことが難しい。

△一度に全てを理解したり、メモを取りながら聞いたりすることは難しい。

読むこと

○国語の授業のとき、文章の内容を正しく理解し、本文の言葉を根拠に読み取ることができるようになってきた。

書くこと

△語彙はある一方、誤字脱字が多く見られる。

△文を書くことが苦手で、頭に浮かんだことを書いて表現することが難しい。

△一度口に出すと多少は書けるようになるが、スピードは遅い。

第1学年 国語科学習指導案「調べたことを報告しよう レポートにまとめる」

1年6組 1名(男子1名) @ 1・2年6組教室 授業者：松浦 亜咲実

<国語科における「主体的・対話的で深い学び」の姿>

- ・主体的：単元の出口と単位時間ごとの学習の見通しをもち、単位時間ごとに自分の考えを書く姿。
- ・対話的：文章や教師や自分自身との対話によって自分の考えなどを広げたり深めたりする姿。
- ・深い学び：自分の考えを基に、教師と交流することで、言葉による見方・考え方を働かせ、さらに自分の考えを深める姿。

<単元のねらい>

- ・課題に合わせて、集めた材料を整理する。書(1)ア・イ
- ・調べた内容がわかりやすく伝わるように、構成に沿って文章にまとめる。書(1)エ
- ・相手にわかりやすく伝わるように、声の大きさや間の取り方などを意識して話す。話(1)ウ

<単元指導計画(ねらいと評価規準)>

時	ねらい	評価規準
1 書	今後の学習の見通しをもち、調べる課題を決定することができる。	学習の見通しを理解し、調査課題を決定することができる。<書(1)ア>
2 書	適切な調査方法と記録の残し方を学び、今後の学習に繋がっていくことができる。	さまざまな情報の集め方を知り、自分の調査課題に応じた方法を考えることができる。<書(1)ア>
3 書	自分の調査課題に応じた調査方法を用いて、レポート作成のための情報を得ることができる。	自分の調査課題に応じた調査方法を選び、情報を集めることができる。<書(1)ア>
4 書	集めた情報を整理する方法や、図表の種類を学び、今後の学習に繋がっていくことができる。	わかりやすい情報の伝え方を学び、自分のレポートで使うべき方法を考えることができる。<書(1)イ>
5 書	集めた情報の中から適切な情報を選び、レポートにまとめることができる。	自分の調査課題に応じた図表や構成を考え、レポートを作成することができる。<書(1)イ>
6 書	自分の作成したレポートの構成に沿って文章化することができる。	レポートの構成に基づき、スピーチ原稿を作成することができる。<書(1)エ>
7 話	わかりやすい構成や伝わりやすい話し方を意識して、スピーチの練習をすることができる。	声の大きさや間の取り方を意識して、堂々と話すことができる。<書(1)エ、話(1)ウ>
8 話	わかりやすい構成や声の大きさなどを意識して話す活動を通して、調査課題について相手に伝えることができる。 【本時】	内容や構成を工夫して、相手にわかりやすく伝えることができる。<話(1)ウ>

<特別支援教育との関わり>

個別の教育支援計画、個別の指導計画に基づいた授業づくり

①能力や特性を発揮し、主体的に活動ができる指導内容や方法、評価のあり方

自ら設定した課題について、本やインターネットなどを使って調査する。調査した内容については、図表などを使いながらレポートとしてまとめ、レポートに沿ってスピーチ原稿を作成し発表する。「書くこと」「話すこと」の2つの観点について、毎時間自己評価をし、それをシートに記入することで、自己の変容に気付かせる。

②自ら考え、判断し、自分の思いを伝える力を育てる学習活動の工夫

「書くこと」については、レポートやスピーチ原稿を書くことで、自分の伝えたいことをわかりやすく文章化するための手立てを学ぶ。「話すこと」については、マンツーマンの中で教師と感想を言い合うなどして、話すことに慣れていきたい。

<本時のねらい>

わかりやすい構成や声の大きさなどを意識して話す活動を通して、内容や構成を工夫して、相手にわかりやすく伝えることができる。

<本時の展開> (本時の位置 8/8)

過程	学 習 活 動	研究内容2に関わる指導・援助
導入	<p>①前時の復習</p> <p>○前回のスピーチ練習で、課題となったことは何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はきはき話すことができず、声が小さくなってしまったことです。 	<p>①前時の振り返りで挙げられた自分の課題点を意識させる。</p>
展開	<p>②課題提示</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>声の大きさを意識して、相手にわかりやすく伝えよう。</p> </div> <p>③スピーチ練習</p> <p>○前回課題になった点は、意識できているかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイント <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさ…相手にはっきりと届く声量 場にあった声量(人数や部屋の大きさなど) ・話す速さ…1分間に300字が目安 相手が聞き取ることのできる速さ ・間の取り方…「、」「。」や、まとまりを意識して話す ・言葉の調子…主張したいところは強くする ・話す姿勢…視線を相手に向けて話す <p>④スピーチ本番</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再度課題を確認し、前に立ってスピーチをする。 <p>⑤振り返り・まとめ・評価</p> <p>○先生方から、今日のスピーチの感想をいadakou。</p> <p>○今日のスピーチの自己評価をし、振り返りを書こう。前に比べてできるようになったことや、まだまだ課題だなと思うところはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前はなかなか大きな声が出せず、姿勢がふらふらしてしまっていたが、相手の方を見て、相手に伝わる声の大きさで話すことができるようになった。先生方にも伝わってよかった。 ・暗記するなどして、すらすらと話すのはまだまだなので、できるようになりたい。 	<p>②生徒が出した課題を、本時の課題として位置付ける。</p> <p>③よりわかりやすい話し方を一緒に考えたり、話すポイントを掲示しておき、それを指したりしながらその都度アドバイスをする。</p> <p>③スピーチする相手は教室内にいる揖斐川中の先生であることを伝え、視線の向きや声量を意識させる。</p> <p>⑤教室内にいる揖斐川中の先生にも、チェックシートで評価してもらい、感想をいただいてから自己評価をする。</p> <p>⑤文での振り返りは、本時の振り返りと、これまでの学習の振り返りを比較し、できるようになったことに着目させる。</p>
終末	<p>⑥つなぐ</p> <p>○この学習は、将来の自分の生活に、どのようにつなげていくべきなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者とコミュニケーションをとるときに必要なと思う。 ・さまざまな人と関わっていく上で、自分の思いを伝えることはとても大切だから、相手に伝わるようにわかりやすく話したい。 <p>○では、将来そういう力を発揮できる自分になるために、明日から頑張りたいことはなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶するときや発表するときの声を大きくする。 ・人の方を向いて話ができるようにする。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>⑥何のための学習だったのか、学習を通して得た力はどんなときに発揮されるのかを再確認し、他教科の学習や社会に出るときなどに繋げる。</p> </div> <p>⑥他者と関わる、自分の思いを伝える力を身に付けたことを実感させ、今後繋げる目標を作る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><評価規準></p> <p>内容や構成を工夫して、相手にわかりやすく伝えることができる。</p> </div>